

柿食えば鐘がなるなり、法隆寺号

ブル通信

2411

お、俺はこんなことをやっていて

いいのだろうか？

先日のこと、友人のY（最近頭髮がめっきりと薄くなった）の娘が結婚したのである。

まあ結婚式には行っていないが結婚式の数日後、古くからの友人、クロス屋Hと炎のボーラーマンGとなんかお祝いの品を買ってY（頭髮薄い男）の家に行くことになったのである。まあ大人なんで友人と言えどもそれなりに型どおりの挨拶をしてお祝いを述べて、ちよつと飲むか、みたいな話となりその夜は頭髮薄い男のYの家にクロス屋HとボーラーマンGとワシで泊まることになったのである。

1時間ぐらい飲んだあとだろうか？唐突にクロス屋HがYに向かつて、お前まだモノポリー持っている？と言いつ出したのである。モノポリーというのは人生ゲームみたいな海外版のボードゲームで昔まだYが実家にいたころ、暇人のおしらはよくYの実家の2階の部屋で日曜日など昼間から酒を飲みながらモノポリーをやっていた、それを突然思い出したらしいクロス屋Hが言い出したのである。

モノポリーは結構恐ろしいゲームで人生ゲームみたいに上がりというのがないのである。破産してメンバーが徐々に減っていく最後に勝ち抜くものが決まるまで延々とゲー

編集発行人 ブル
ブル通信は発行人が
ブルドッグの様な
顔をしているので
ブル通信としました。

ブル通信は
過去に...

ガッツのお車の
ご購入
車検
査定
修理
見積もり
ご売却

の
どれかをご利用頂いた
お客様に
お送りしています。

ムが続くのでかなり長い時間が必要であり、Yが納戸を探して、モノポリーをあったぞと持ってきた段階で、あ、今夜は徹夜になるな・・・と全員が覚悟したのであったが、さすがに年齢的にモノポリーで徹夜は厳しいので3時間後の資産状況で勝敗を決するというルールでモノポリーを久々に始めたのであった。

もう時効であるから書くが、当時は本物のお金を出し合って1位はいくら、2位はいくらという賞金をつけてやったり、最初に脱落したものは罰ゲームとしてズボンを下ろしてふとももを剥き出しにした状態でエアガンで至近距離から一人2発ずつ打たれるというような恐ろしい罰ゲームがあつたりして、モノポリーは人数制限がないので5人くらいでやっていた時など最初に脱落すると他の4人から2発ずつふとももを打たれてふとももが真っ青になり腫れ上がるなどという恐ろしい罰ゲームもあつたのであるが、さすがにジジイになった今、罰ゲームや賭けはせず、黙々と酒を飲みながら3時間の限定勝負が始まったのである。

久々ではあるが飲んでいることもあり、Yの家の2階は異様な熱気に包まれて黙々とゲームは進み1時間を過ぎたころにはワシがトップにいたのであった。Yが破産寸前となり、ワシにお願いしますから不動産を相場より高値で買って下さいと泣きつかれて、人のいいワシは仕方ないなあ。といったつYの持っている不動産を相場よりだいぶ高

値で買ってやったのである。さらに時は進み開始より2時間後人生一寸先は闇である。あれだけ隆盛を誇っていたワシがかなり危機に立たされ、ワシに泣きついてきたYがトップになったのである。ワシはお前さっきかなり高値で不動産買ったつたろ、今度は俺の不動産を買ってくれ！とYに頼んだところ次のような絶対に許せない事態が起きたのである。

まあ買ってやらんこともないがこれで下へ行つて水割りを作つてきてくれたまえ！などとほざき、ワシにおもちやの1ドル札を投げてきたのである。ゆ、ゆ、許さんこいつだけは絶対に許さん。なんて嫌な性格なのだ。しかしながら不動産を買つてもらうためには背に腹は代えられない。仕方なく屈辱に耐えながら1階の台所に降りていき、ワサビ入りの水割りを作つて持つていったのである。

結局3時間経過後、トップは熱くならず淡々とサイコロを振つていたボーラーマンGの勝利と終わり、その夜の勝負は終わりとなり就寝したのであった。

翌朝、全員二日酔いの頭を抱えながら全員の胸を去就したのはああ、老後の不安が高まるなか、むしろはこのような事をやっていいのだろうか？という不安が誰語るともなく共通認識としてなんとなく共有されていたのであった。そして誰ともなく、俺帰るわ、と一人、また一人と頭髮が薄くなったYの家から去つていったのであった。むなしさだけが残るモノポリーの一夜であつたのである。

ダミーでもいいので

防犯カメラ取付、強くおススメします

一時、鳴りを潜めていた押し込み強盗、再び再発してきています。あれだけ闇バイトでの応募がリズリが大きく、お金にもならず、個人情報把握されやらざるを得ない状況に追い込まれるという報道がたくさんあったにも関わらず応募する人間がいるというのには信じられない思い

ですが、こういった前後のことを全く考えず犯罪に踏み切る人物というのは一定数はいつも時代も存在するものと思えます。

そこで我が身を守るためにも都会や田舎、関係なく防犯対策は取つていったほうがいいわけで、その中でも特にオススメなのが防犯カメラの設置です。ダミーでもあったほうがいいようです。

たまたまYouTubeで元警視庁の捜査一課の刑事さんが話しているのを見たのですが、その元刑事さんがおっしゃるには泥棒であれ、押し込み強盗であれ、犯人は必ず下見にくるとおっしゃっていました。そして日本の警察というのは凄いらしく防犯カメラに一度写れば、そこから付近の防犯カメラから次の動きを探し、次から次へとずっと追つていく専門部署が警視庁や大阪府警のような大きな組織だけではなく県警にも全部あるそうです。実際に都内で起きた事件で犯人の福島県の自宅まで解明した事件とあり、北海道であれ九州であれ一度写れば必ず追い続けるそうです。そういったことを犯罪者は熟知しているために最も犯罪者が嫌うのは防犯カメラの存在だそうです。カギなんてどんだけつけようが泥棒などは簡単に外してしまふそうです。ですから外から見てわかる場所にダミーでもいいので複数の防犯カメラを設置するのが犯罪に巻き込まれないためには最も有効とおっしゃっていました。

ダミーカメラの場合、電源さえ取れば常に赤いパイロットランプが着き、録画されているように見えるそうです。実際我が家も車庫にはつけてあり、夜などパイロットランプが点滅しているので視覚的な効果は高そうです。ダミーであればアマゾンあたりで1台10000円程度で売っているので2、3台つけてもそれほど金額ではなく、それで防犯対策の一助になるのであれば絶対につけた方が安心だと思います。

犯罪者は防犯意識が高いと見てとれる家はまず避けるのが常だそうです。